

真一郎 News



三次市議会議員 山田真一郎 市政報告 第2号 令和3年5月発行

感染症の発生から1年以上が経過し、この間新たな行政課題も増えてきましたが、いかなる状況でも市民の皆様が安心・安全に生活できるよう、三次市議会でも質問・提案を行いました。その一部をご報告します。

八次コミュニティセンター整備事業 について

目的

現在、八次地区において分散している放課後児童クラブを既存の八次コミュニティセンターへ集約し、子どもたちの安全と利用者の利便性の向上を図る。よって、八次コミュニティセンターは、現状機能維持を基本として、市有地でありコミュニティセンター建設に十分な広さとグラウンドを有し、災害時の浸水区域や土砂災害危険区域からも除外されている現畠敷公園へ移転整備し、八次地区のまちづくりや地域活性化並びに災害時の拠点施設として整備するもの。

なお、この畠敷公園は、この事業実施に伴い都市公園としては廃止し、以後はコミュニティセンター敷地として管理する。

事業概要

1. 全体計画

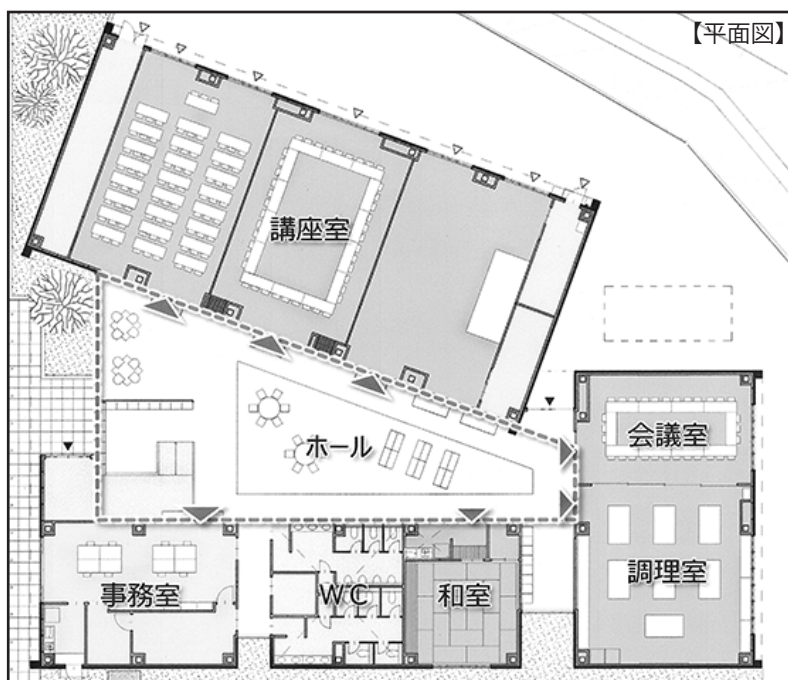
- (1) 基本方針 ● 現コミュニティセンターの現状機能維持 ● 駐車場及びグラウンドの確保
● 災害時拠点施設(避難場所・避難所)
- (2) 配置計画 ● 敷地面積: 約3,760㎡ ● 駐車場(舗装面): 40台(イベント時はグラウンドも駐車場として使用)
- (3) 平面計画及び構造 ● 延床面積: 約995㎡ ● 鉄骨造平屋建(講座室・ホール・会議室・調理室・和室・事務室・トイレ)

1. 事業費

- (1) 全体事業費: 673,904,000円(平成30年度～令和3年度)
- (2) 事業内訳: 建築工事(外構工事を含む)・グラウンド造成工事

	R2.4~6月	R2.7~9月	R2.10~12月	R3.1~3月	R3.4~6月	R3.7~9月
スケジュール	グラウンド造成工事	→				
		建築工事	→			

今後のスケジュール(案)



※ 令和2年2月14日 三次市議会全員協議会提出資料 地域振興部 (地域振興課)

内水対策事業（畠敷・願万地地区）に伴う貯留施設整備について

令和3年2月3日
産業建設常任委員会提出資料
建設部（土木課）



1. 経緯

- ・畠敷・願万地地区においては、国・県・市の三者が連携し、平成30年7月豪雨と同様の降雨に対して家屋の床上浸水の防止を図ることを目標として、内水対策を推進している。
- ・市では、「流域対策」「排水路の改良」「土地利用規制」の検討を進めている。
- ・「流域対策」は、2箇所貯留施設を整備し、合計2～3万 m^3 程度の貯水容量を確保する。

2. 施設の概要

- (1) 全体工事費 約10億円
- (2) 工期 令和5年3月予定
- (3) 施設 ① 面積 7,600 m^2 高さ約2.0m 貯留深 H=1.0m 容量 7,600 m^3
- (4) 施設 ② 詳細については、今後検討する。

3. 施設整備の進捗状況

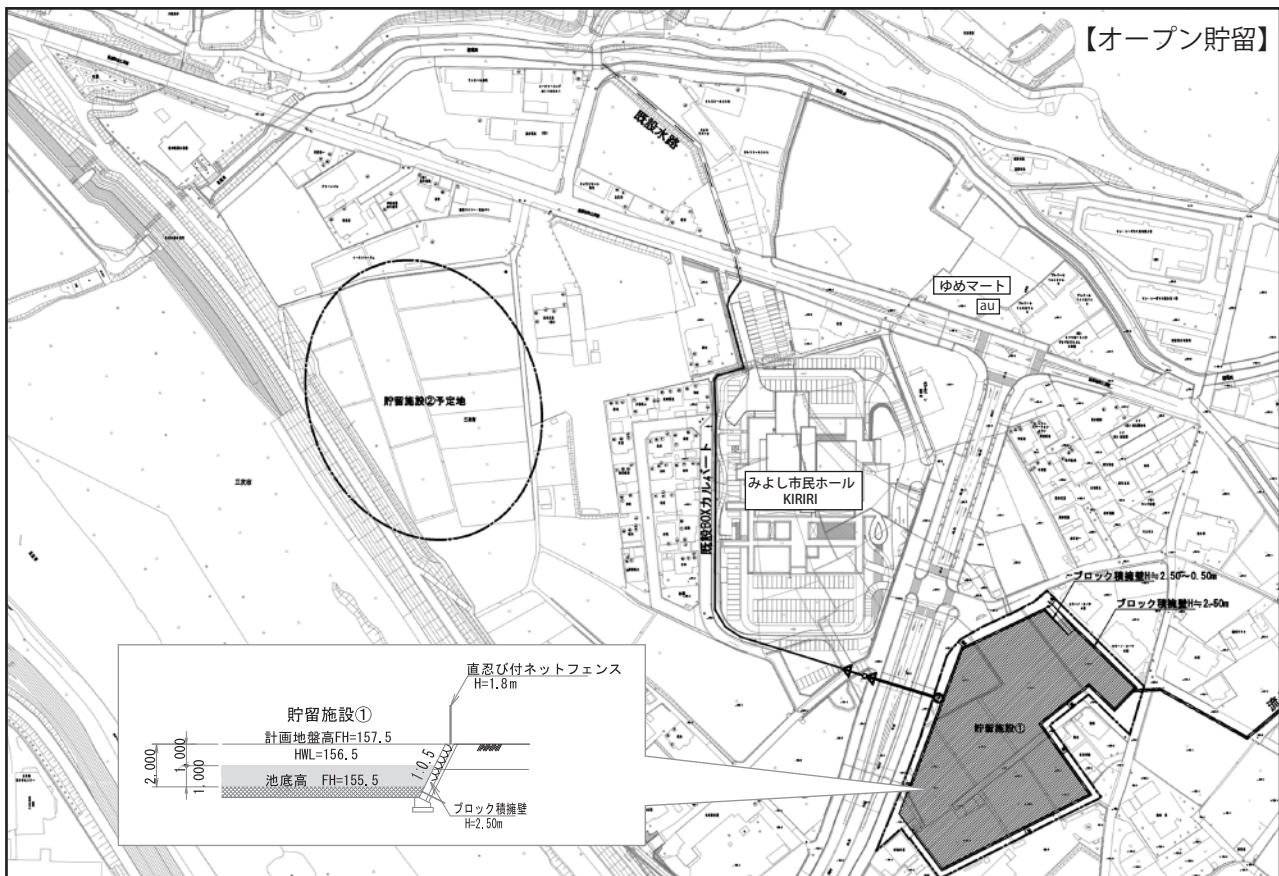
令和2年12月22日 貯留施設整備に関して地元説明会を開催。

施設①について

令和3年1月27日に整備工事の工事公告を行った。2月12日に入札となるが、議会の議決を得る案件のため落札者と仮契約を締結し、3月の議会の議決を得たのちに本契約を締結する。工期末は令和4年6月30日としている。貯留施設の用地については、境界立会が終了し契約に向けての関係資料を作成中。2月中旬より用地交渉を行う予定である。流入水路については、地元関係者と協議を行っている。年度内に境界立会を行う予定である。

施設②について

令和3年度に設計を行い、令和4年度に工事発注を行う予定である。



貯留施設検討図 ▲